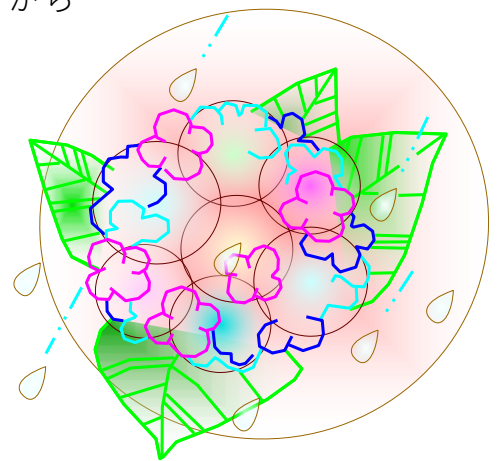


6月の憧憬

雨だと言うのに窓を一杯開けて 外をじっと見ていると
トレモロの様に いつまでもシトシトと降り続く今日の雨があまりにも
優しすぎるから その人の笑顔にしっかりと答えられるだろうか
少し 心配になってきた。

もう少し バイロンの詩集をコーヒー飲みながら
じっくり読もうと思うけれども
雨の美しい和音がピアノシモの様に
消えてゆくのが残念で気になる
そして 胸の奥に閉じこめていた
君への憧憬を隠すことが出来なかった
この胸のときめきは何だろう



いくつもの予想と期待を抱いて 空の雲の
具合と風の向きを見ながら 用心のため傘を持って
その人に失礼のないように行くことにした

えがえには ほほえみを持って出かけよう
そうすれば きっと 色を競い合い心から
僕を迎えてくれるだろう

その人は 紫陽花

By T.Owaki